

## 部分マット印画機能説明

2016 年 03 月 18 日  
大日本印刷株式会社



本書の著作権は権利者にあります。一部または全部の無断転載・無断複製を禁止します。



本書の内容は予告なく変更することがあります。



本サンプルプログラムの内容を、貴社のシステムでお使いになる場合、動作の保証はいたしかねますのでご了承ください。また、本サンプルプログラムの使用に関して、直接的または間接的に生じる如何なる損害に対し、当社は一切の責任を負いません。

### 部分マット印画機能

部分マット印画機能はオーバーコートを転写する際に光沢部分とマット部分を組み合わせて印画する機能です。

#### 〈印画物イメージ〉



光沢部分

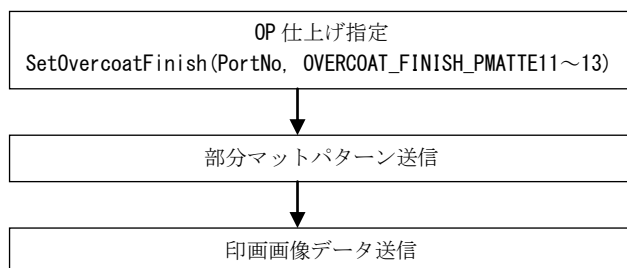
マット部分

#### ① 部分マット処理概要

- ・ホストから部分マットモードの指示コマンドを送信することで、プリンターは部分マットモードになり、コマンド送信後に部分マットのパターンを送信し、その後に印画画像データを送信することで、部分マットの印画を行います。
- ・部分マットモードの指定はマットパターンをマット、ファインマット、ラスターから選択できます。
- ・部分マットモードは、1枚印画を行うと通常モードに戻ります。部分マットの印画を行うときは、1枚毎にコマンドと部分マットのパターンを送信してください。
- ・部分マットパターンのデータ送信は、白黒で作成したパターンを、通常の印画データ送信と同じ処理でプリンターへ送信してください。

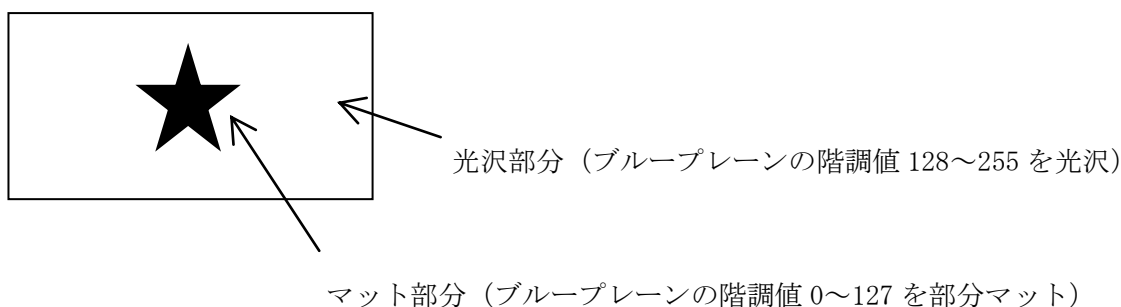
## ② 部分マットパターンについて

- (Ⅰ) 部分マットの印画を行う場合、まずオーバーコート仕上げ制御コマンド SetOvercoatFinish() で OVERCOAT\_FINISH\_PMATTE11～13 のいずれかを指定してください。
- (Ⅱ) 部分マットのパターンを通常の印画データと同じようにプリンターへ送信してください。
- (Ⅲ) 部分マットパターンに続いて印画データを送信してください



## ③ 部分マット指定方法

部分マットのパターンは白黒の画像で作成してください。



## ④ 部分マット機能の注意事項

部分マット機能を使用時にはプリンターはシングルバッファで動作します。

## サンプルプログラム

VB.NET の部分マットサンプルアプリケーションです。本サンプルプログラムは、画面に入力された内容で部分マット印画を行います。

本サンプルプログラムをご使用いただく場合、ご使用の環境に合わせて以下の変更を行ってください。

## ■プリンター名

Form1\_Load() の 「PrinterName」 を変更してください。  
初期設定は、「PrinterName = “DP-DS820”」 となっていますので、インストールしているプリンター名を設定してください。プリンター名はパソコンの「プリンターと FAX」を参照してください。

## ■32/64bit OS の選択

OS が 64bit の場合、DS820Stat.vb の先頭を 「#Const x64 = True」 としてください。  
初期設定は 32bit 用で 「#Const x64 = False」 となっています。

